

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-4-3		事業名	消防施設耐震補強事業
担当	消防局総務部施設管理課 菅井 215-2030			
全体計画				
事業内容	市有建築物耐震化緊急5ヶ年計画に基づき、南消防署及び中央消防署大通出張所の耐震化に伴う改修工事を実施する。		<年度別の事業内容>	
			[平成20年度]南消防署実施設計 [平成21年度]南消防署耐震化改修工事実施 [平成22年度]大通出張所実施設計	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	/		南消防署庁舎の耐震化改修工事に伴う実施設計を完了した。	
平成21年度事業内容(予算)			平成22年度事業内容(予算)	
事業内容・規模・件数等	南消防署署の耐震化に伴う改修工事を実施する。			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-4-3			事業名	消防施設耐震補強事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
[消防施設]耐震性能の強化(累計)	-	-	/	1施設	2施設	2施設	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 該当なし							
企業等との連携・協働 該当なし							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 該当なし							
評価(成果)			課題				
消防施設は災害時において機能維持を強く求められる応急活動の拠点となる施設と位置づけられており、耐震化緊急5ヵ年計画に基づき耐震化改修を進めることにより、地震などの大規模災害において消火救出活動する消防職員や消防車両などの資機材を施設倒壊から保護し、機動力を保持するとともに、応急的に消防施設に避難して行く地域住民の安心安全を確保することができる。			平成22年度に耐震化改修実施設計を予定している中央消防署大通出張所(Is値0.24)については、「札幌市消防局運営方針」に基づき、署所の配置の検証による移転改築を含め検討中である。				
今後の事業の予定・方向							
市有建築物耐震化緊急5ヵ年計画において、「引き続き計画的に耐震化」と位置づけられている東消防署北栄出張所、豊平消防署美園出張所、西消防署琴似出張所については、「市有建築物中期整備計画」、「札幌市消防局運営方針」などに基づき、老朽化、狭隘化が著しいことから耐震化改修ではなく、計画的に移転改築を実施していくことを検討中である。							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-4-3		事業名		消防施設耐震補強事業		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	0	2,000	37,000	2,000	41,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0	0	0		
	市の債	0	1,000	25,000	1,000	27,000		
	その他の	0	0	0	0	0		
一般財源	0	1,000	12,000	1,000	14,000			
予算	事業費	0	2,500	12,500	-	15,000		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0	0		0		
	市の債	0	0	0		0		
	その他の	0	0	0		0		
一般財源	0	2,500	12,500		15,000			
実績	事業費	0	1,437	-	-	1,437		
	財源内訳							
	国・道支出金	0	0			0		
	市の債	0	0			0		
	その他の	0	0			0		
一般財源	0	1,437			1,437			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					34.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度]								
ほぼ、計画どおり予算化、事業を実施								
[21年度]								
ほぼ、計画どおり予算化								